



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度RIテーマ

R.I.会長
イアン H.S. ライズリー

RI第2620地区ガバナー
松村 友吉

2017～2018

NO.11

事務所 沼津市八幡町15
〒410-0881 ビレッジ35 303号
☎(055) 963-0515 ☎963-5202

例会場 沼津市上土町100番地1
〒410-0802 沼津リバーサイドホテル
☎(055) 952-2411 ☎952-2455

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
会長 吉野 聖 一
幹事 村上 綾 一
会報委員長 野際 宏 行

再生紙を使用しております。

会長挨拶

会長 吉野 聖一

皆さん、こんにちは。10/1はよく晴れましたので、「千本をよくする会」に出席できました。沼津商業高校のインターアクト大場先生と元会員の深瀬さんにもご参加いただき皆さんと掃除ができましたこと感謝します。引き続きエンドポリオ募金も継続しておりますし、先週はR財団の地区補助金を活用したミシンの贈呈式を行うことができ、今日は米山記念奨学会学友の鐘さんから卓話をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。Rグローバル補助金についても峯村委員長から先日の卓話でご説明があったようにRCは大局的に考えて、地域で行動できるのですばらしい団体だと思います。先日の9/20にはメキシコ中部で地震の規模(マグニチュード)7.1と推定される地震がありました。国内においても九州北部豪雨など災害が多いのですが、9/29に関東弁護士会が主催する防災セミナーに参加いたしました。当クラブでも弁護士の渡邊君、山本君が参加されていたので詳しくは聞いていただければと思います。兵庫県立大の室崎先生の「減災の7段階活用」をご紹介します。1. あきらめる 2. 祈る 3. 避ける 4. 逃げる 5. 逸らす 6. 和らげる 7. 耐える、と紹介していました。なんであきらめるの? なんで祈るの? 不思議に思いましたが、飛行機に乗ってしまえばジタバタしてもしょうがないのであきらめる訳です。苦しい時に神頼みをするのではなく、普段から整理整頓して後始末をしておく。避けるとは、津波に例えれば、ひたすら高台で津波を避け、津波の頻度や強度を理解しおいしい魚を捕るといったことはリスクがあるという認識をもつ。私も保険ビジネスをしており、リスクを知りながら線引きをすることは重要だと思っていますしアンダーライティング(保険の引き受け)という原点に立つことを考える良い機会になり、心構えが重要だと再認識しました。

ゲスト 鐘 佑希様(米山学友)

ビジター 影山 桓義君(沼津北)

他RC出席 服部君(10.2沼津柿田川)、積君(10.4東京)、石川(秀)君(10.5沼津西)

出席報告

欠席者(6名)
高地君、楠木君、大熊君、大村君、
勝呂君、渡邊(洋)君

会員総数	45	名
出席計算に用いた会員数	44	名
出席計算に用いた出席数	39	名
出席率	88.64	%
前々回の修正出席率	95.56	%

プログラム

10月24日(火)
沼津4RC合同夜間例会(18:30点鐘)

10月27日(金)
外部卓話「オープンイノベーションで

未来の農業・産業振興を導く」
AOI-PARC 専務理事兼事務局長 岩城 徹雄様



卓話

米山奨学生として 経験できたこと等

米山学友 鍾 佑希様

【自己紹介】2015年度米山奨学生の鍾佑希と申します。甲府RCにお世話になっておりました。私は中国の広東省の出身です。2014年の3月に来日し、山梨学院大学で2年間勉強をしていました。去年の4月からは、静岡大学の大学院に入学し、現在は静岡大学人文社会科学部研究科経済専攻の2年生です。

【ふるさとの紹介】私の故郷である広東省は中国大陸の南に位置し、気候の良い、暖かい場所です。言語は広東語が広く使われています。また、広東省は中国では美食の地として知られています。日本では麻婆豆腐やエビチリなど四川料理が人気ですが、広東料理はあっさりした味が多く、野菜や海産物を中心に様々な物を使い、医食同源という観点から、栄養を豊富に含んだスープを好んで飲みます。また、日本でも知られている「飲茶」という言葉は広東語から来ています。単にお茶を飲むだけでなく、朝にホテルや店で点心を食べながらお茶を飲む文化です。広東人にとって一日の始まりとしての朝食は非常に重要な意味を持っていて、特に休日の朝は家族や友達とゆっくりと飲茶に行くことが多いです。皆様も機会がありましたら、ぜひ一度飲茶を体験してみてください。

【私と静岡との出会い】日本には静岡というところがあると来日前から認識していましたが、具体的な位置などは知りませんでした。来日後初めての夏休みに山梨側から富士山に登頂したとき、友人から静岡側からも登れると聞いて、静岡は富士山の向こう側にあると知りました。その後、Rの関係で何度か静岡を訪れ、東京など大都市に行くにも便利で、1年を通し温かな気候にも恵まれている、とても魅力のある県だと感じました。そして、山梨学院大学を卒業後は静岡大学に入学しました。一年半あまりの留学生活を通じて、多様な産業、観光業など、静岡の魅力を深く知ることができました。引っ越してきた当初は慣れないことが多く、不安もありましたが、現在ではとても楽しく、充実した生活を送っています。静岡に来て本当に良かったと思います。

【奨学生生活を振り返る】日本に来てからの3年間で一番誇りに思うことは、R米山奨学生になれたことです。RCのおかげで、たくさんの立派な方々に出会い、素晴らしい体験ができました。毎週、世話クラブの例会に参加し、RCの方々と交流したり、卓話を聞いたりすることで、非常に有意義な経験と、とても良い勉強の機会を与えていただけたと感じています。月に1回世話クラブのスピーチをすることも、日本語の表現力を高めるための貴重な練習の機会になりました。その他、奉仕活動や季節の行事、カラオケ同好会など、様々な活動を通じて日本の様々な文化に触れ、見識を深めることができました。また奉仕活動などに参加することで、私は自分自身のことだけでなく、他人のこと、社会のことも考えるようになり、大きく成長できたと思います。

【米山学友として】米山記念奨学生としての生活が終了した後も、Rとの絆を大切に、米山学友として活躍したいと思い、Rのイベントに参加したり、米山月間などの折にRCの例会で卓話をしたりしています。R米山記念奨学会の理念の1つである「留学生に母国と日本の架け橋になってほしい」これを踏まえて私に何が出来るかを考え、私の経験から、文化を学ぶためにはまず「言葉」を知ることが大事だと思に至りました。そこで私は中国語の先生のアルバイトを始めました。まだ勉強すべきことはたくさんありますが、日本の方に中国語を教えながら、少しずつ中国の文化を知ってもらえて、本当に楽しく、充実感を抱いています。微力ですが、このような活動を通じて少しでも日中友好に役立てればと考えています。

【大学院での研究】静岡大学大学院での私の研究についてご紹介いたします。研究テーマは「中国における資源の再利用問題－日本との比較を通じて－」です。日本の生活習慣や文化などは中国と異なる点が非常に多くあります。来日後一番驚いたのは、リユース業の規模の大きさです。日本の中古品は、国内で再利用するだけでなく、資源の乏しい国にも輸出しています。ウガンダでは、日本の古着が人気で、made in Japan でなくても used in Japan だけで売れます。日本人には物を大切に使う習慣があり、中古品でも綺麗だからです。ニュージーランドで走っている車の6割は中古車で、その内94%は日本から輸入しています。これらの事例から、中古業界における日本企業の強さがわかります。資源の有効活用は、中国においても重要な課題になると思います。日本の現状を研究することにより、中国の課題にも適用できればと思い、この研究テーマにしました。来年の3月には卒業予定で、静岡の会社に内定を頂いております。今後もRの皆様との交流を深めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

紙面の都合により、一部を要約して掲載しました。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

沼津柿田川…10/30(月)は10/24(火)夜間例会

沼津西…10/26(木)は10/24(火)

沼津4RC合同例会

富士宮…10/30(月)は10/27(金)夜間例会

2. R米山記念奨学会ご寄付のお願いポストイン

3. エンドポリオキャンペーン募金のお願い

4. 米山記念奨学生学友会年間事業(スリランカへの医療器具寄贈プロジェクト)へのご協力をお願いします

5. 米山梅吉記念館理事長に積惟貞君就任

スマイル・ボックス

影山桓義君(沼津北)…お世話になります。

積君…米山梅吉記念館の理事長に就任し、一昨日東京クラブに挨拶のメーキャップをしました。

渡辺(芳)君…結婚祝いありがとうございます。

山口君…久しぶりの例会です。

吉野君…本日の卓話、鍾佑希さんよろしく申し上げます。